

授業科目	疾病・治療論Ⅶ (母性・小児)	開講年次	単位	時間	必修	講師	実務経験
		2年次	1	30		北澤 克彦 植竹 公明 衣川 佳数 八畷 聡 大野 耕一	
授業概要	母性疾患の診断と治療について理解する。また、小児の主要疾患の診断と治療の要点を理解する。これらの特性を理解し、ライフサイクルと健康レベルに応じた生活調整の基礎知識を修得する。 I. 母性疾患の病態生理と症状、検査、治療・処置 II. 小児疾患の病態生理と症状、検査、治療・処置						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	I. 母性 妊娠の成立と診断						講義
2	不妊治療 出生前診断						
2	不妊治療 出生前診断						
3	妊娠期：ハイリスク妊娠・感染症・悪阻・PIH・流早産・多胎 子宮外妊娠						
4	常位胎盤早期剥離・前置胎盤分娩期：胎児仮死・帝王切開						
5	産褥期：子宮復古不全・産褥熱・産褥血栓症・精神障害						
6	II. 小児 小児疾患の理解						
	症状・検査・診断・治療						
7	ダウン症、ターナー、クラインフェルター、新生児スクリーニング						
8	糖尿病、低血糖症、クレチン症、先天性副腎過形成不全、クッシング						
9	思春期早発症、小児感染症、日本脳炎、溶連菌症						
10	ノロウイルス、ロタウイルス、血友病、ビタミンK欠乏症、 てんかん						
11	ネフローゼ、気管支喘息、川崎病						
12	先天性心疾患						
13	ITP、白血病、神経芽細胞腫						
14	小児外科領域疾患の理解：症状・検査・診断・治療 小児の手術総論 食道・胆道・腸疾患						
15	試験						
テキスト	母性看護学[1]母性看護学概論／医学書院 母性看護学[2]母性看護学各論／医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論／医学書院 臨床外科看護各論／医学書院						
評価方法	筆記試験						
先修条件	なし						